

第14回

大阪・関西万博協賛競輪

2025

©Expo 2025

KEIRIN

1997.3.31 第49回高松杯競輪 (大塚めぐみ・競輪場)

1992.3.25 G1第45回日本選手権競輪 (小倉けいりん)

1999.3.26 G1第51回日本選手権競輪 (大塚めぐみ・競輪場)

1992.11.25 G1第34回競輪祭 (小倉けいりん)

1994.11.25 G1第36回競輪祭 (小倉けいりん)

1999.3.26 G1第15回全日本選拔競輪 (大塚めぐみ・競輪場)

1992.12.30 G1KEIRINグランプリ'92 (小倉けいりん)

1994.12.26 G1第38回競輪祭 (小倉けいりん)

1999.3.26 G1第59回日本選手権競輪 (大塚めぐみ・競輪場)

1999.3.26 G1第47回高松杯競輪 (大塚めぐみ・競輪場)

1994.12.26 G1第38回競輪祭 (小倉けいりん)

1999.3.26 G1第59回日本選手権競輪 (大塚めぐみ・競輪場)

記憶に刻む
名勝負がある

第19回
吉岡総真カップ争奪戦GIII

8/8金 9土 10日 11月祝

8/10日・11日は
小倉けいりん夏まつり

北九州市
小倉けいりん

北九州メテアチーム 競輪場番付817

小倉けいりん

競輪は適度に楽しみましょう。
車券の購入は20歳になってから。
競輪とオートレースの売上の一部は、機械工業の振興や社会福祉等に役立てられています。

プロスポーツ

PROSPORTS KEIRIN WEEKLY MAGAZINE

小倉GIII
号外版

若手自力型によるV争い

第14回大阪・関西万博協賛競輪・第19回吉岡総真カップ争奪戦（G3）は、8月8日～11日の日程で開催される。舞台はもちろん小倉競輪場で、珍しくデイ開催で行われる。オールスター直前の開催のためトップクラスは見当たらないものの、若手の自力型が数多くあっせんされていて、勝ち上がり戦から熾烈なスピードバトルが繰り広げられるのは間違いない。果たして勝利の女神は誰に微笑むのか？

優勝候補は5指に余る大混戦のV争い。狙いは絞りにくい、最近では自力攻撃に迫力を増している感がある久田裕也を中心視した。5月函館で今年の初Vを飾ると、6月富山G3では2⑥①①着と3連対。7月青森は②①②着とオール連対の準Vと、最近の調子も良好だ。直近4カ月の連対率は6割に迫る勢い

久田裕也



林大悟



最近F1戦で決勝を外す場所も目に付く谷口遼平だが、6月四日市G3では2①④着と気を吐いていて、やはり底力はある。

でも、嵯峨は復調著しく、ここにきて成績が急上昇。6月は福井1②②着、富山G3は2③①⑨着、熊本1③①着、7月も京王閣G3で2勝、豊橋2①④着と連対ラッシュだ。富山の決勝は、福島トリオを確定板独占に導く逃走劇を演じていて、ここも動向が注目される。佐藤も出来は

を達成している。初日特選、決勝ともに先行した岩谷に乗った林が、きっちり勝機をものにした。だが、林は6月四日市G3の二次予選で落車し、以後は実戦に姿を見せておらず、体調には一抹の不安が残る。岩谷は師匠の冠レースなら燃える材料には事欠かない。最近は今ひとつ波に乗り切れていない感もあるが、6月熊本の初日特選では、東矢圭の逃げを差して勝っている。チャンスが巡ってくればものにできる状態にある。大坪は林と同じく負傷欠場中も、柳詰は2月当所②①①着、決勝は林慶の逃げを利して優勝を手になっている。地元勢がレースを掌握すれば連に浮上してこよう。瀬戸晋作、上野優太らが地元勢に加勢なら、更にラインの厚みが増す。

嵯峨昇喜郎



いい。今年はF1戦で2Vを飾っているし、富山G3は嵯峨の先行に乗っての番手まくりで準V。北日本勢が主導権を握れば、G3初Vを達成しても不思議ではない。

ラインの総合力では劣勢の近畿勢だが、非凡なスピードを活かした自力攻撃は威力抜群の岸田剛は侮れない。6月富山G3、同月久留米記念ではそれぞれ2連対を果たしている。先行基本の競走ながらまくりに戻っても力を発揮できるので、タイミングよく仕掛けられれば一発が怖い。

万博協賛 吉岡カップ（G3） 出場予定選手															※2025年07月27日現在のデータです。									
級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点					
S1	大坪功一	福岡	81 期	104.64	S1	林慶次郎	福岡	111 期	103.62	S2	長田祐弥	神奈川	87 期	91.94	S2	西岡拓朗	広島	97 期	98.63	S2	松尾勇吾	熊本	115 期	95.00
S1	海老根恵太	千葉	86 期	102.75	S1	橋本瑠偉	栃木	113 期	104.96	S2	渡邊一成	福島	88 期	106.09	S2	柳詰正宏	福岡	97 期	104.22	S2	中村隆生	栃木	117 期	94.63
S1	湊聖二	徳島	86 期	104.94	S1	晝田宗一郎	岡山	115 期	104.19	S2	桐山敬太郎	神奈川	88 期	99.19	S2	田中陽平	熊本	97 期	102.26	S2	長屋秀明	岐阜	117 期	96.90
S1	福田知也	神奈川	88 期	104.14	S1	岩谷拓磨	福岡	115 期	104.67	S2	荻原尚人	宮城	89 期	98.03	S2	山崎輝夫	埼玉	99 期	90.29	S2	溝口葵	三重	117 期	97.90
S1	松村友和	大阪	88 期	102.52	S1	阪本和也	長崎	115 期	101.60	S2	池田勇人	埼玉	90 期	97.42	S2	大洞翔平	岐阜	100 期	101.12	S2	青柳靖起	佐賀	117 期	100.46
S1	石塚孝幸	神奈川	89 期	104.09	S1	久田裕也	徳島	117 期	107.34	S2	池田憲昭	香川	90 期	93.00	S2	久島尚樹	宮崎	100 期	104.15	S2	橋本壮史	茨城	119 期	105.44
S1	原誠宏	香川	91 期	104.32	S1	新村稔	神奈川	119 期	96.55	S2	金澤竜二	福島	91 期	91.68	S2	土屋壮登	埼玉	101 期	93.83	S2	上杉嘉樹	福井	119 期	100.92
S1	坂本貴史	青森	94 期	102.90	S1	岸田剛	福井	121 期	105.07	S2	篠原忍	愛知	91 期	95.89	S2	栗山俊介	奈良	103 期	100.76	S2	山根将太	岡山	119 期	100.07
S1	須永優太	福島	94 期	107.46	S2	小沼良	埼玉	68 期	94.00	S2	岸澤賢太	埼玉	91 期	96.10	S2	野口正則	奈良	105 期	92.43	S2	米嶋恵介	岡山	119 期	92.72
S1	藤田勝也	和歌山	94 期	103.04	S2	山田幸司	神奈川	78 期	91.33	S2	高橋和也	愛知	91 期	102.59	S2	畠木努	岡山	107 期	95.66	S2	渡口勝成	山口	119 期	100.50
S1	芦澤辰弘	茨城	95 期	107.48	S2	開坂秀明	青森	79 期	93.56	S2	安部貴之	宮城	92 期	102.37	S2	瀬戸晋作	長崎	107 期	105.92	S2	上野雅彦	香川	119 期	106.13
S1	磯田旭	栃木	96 期	103.82	S2	小林大介	群馬	79 期	100.39	S2	蒔田英彦	千葉	93 期	97.45	S2	清水一幸	大阪	109 期	99.41	S2	山本浩成	福岡	119 期	94.50
S1	原田研太郎	徳島	98 期	107.03	S2	齋藤登志信	宮城	80 期	98.79	S2	連佛康浩	岡山	93 期	93.60	S2	落澤鴻太郎	群馬	111 期	102.15	S2	五十嵐綾	福島	121 期	100.03
S1	川口公太郎	岐阜	98 期	104.66	S2	浦川尊明	茨城	80 期	89.07	S2	北村信明	徳島	93 期	99.37	S2	野口裕史	千葉	111 期	100.82	S2	治田知也	新潟	121 期	101.84
S1	木村弘	青森	100 期	103.73	S2	青井賢治	徳島	81 期	95.61	S2	佐藤一伸	福島	94 期	107.72	S2	格清洋介	静岡	111 期	96.68	S2	真鍋顕汰	三重	121 期	94.56
S1	櫻井正孝	宮城	100 期	104.00	S2	松坂英司	神奈川	82 期	89.09	S2	矢口大樹	千葉	95 期	92.85	S2	小川丈太	徳島	111 期	93.86	S2	昼田達哉	岡山	121 期	101.97
S1	横山尚則	茨城	100 期	102.58	S2	大塚英伸	静岡	82 期	94.77	S2	山中秀将	千葉	95 期	97.11	S2	嵯峨昇喜郎	青森	113 期	107.24	S2	坂田康季	佐賀	121 期	99.58
S1	長尾拳太	岐阜	103 期	103.80	S2	小林圭介	茨城	83 期	87.37	S2	佐藤博紀	岩手	96 期	105.52	S2	河合佑弥	東京	113 期	98.09	S2	梶原海斗	福岡	123 期	101.66
S1	谷口遼平	三重	103 期	105.25	S2	吉本哲郎	広島	84 期	94.95	S2	飯田憲司	静岡	96 期	91.89	S2	鈴木輝大	東京	113 期	97.48	S2	石川航大	宮崎	123 期	90.17
S1	嶋津拓弥	神奈川	103 期	107.80	S2	藤原憲征	新潟	85 期	102.03	S2	山下一輝	山口	96 期	98.00	S2	上野優太	熊本	113 期	105.20	S2	阿部英斗	福岡	125 期	102.85
S1	林大悟	福岡	109 期	110.50	S2	渡辺十夢	福井	85 期	100.62	S2	松尾透	福岡	96 期	101.57	S2	照井拓成	岩手	115 期	100.77					
S1	南潤	和歌山	111 期	101.04	S2	高原仁志	徳島	85 期	101.38	S2	中田雄喜	福島	97 期	101.14	S2	武田亮	東京	115 期	99.52					

A級では先行とまくりを使い分けていたが、2月に特別昇級を果たした後は、徹底先行で奮戦中。7月弥彦記念の走りも力強かった。一次予選はもちろん、二次予選でも軽視は禁物。

[illegible]

※ 2025年07月27日時点
直近12場所成績

買金
銀